

グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方

リーフレット実践事例編

小学校：外国語活動



愛知県義務教育問題研究協議会

愛知県教育委員会

《 平成29年3月 発行 》

リーフレット実践事例編 《小学校：外国語活動》 作成に当たって

本リーフレット実践事例編《小学校：外国語活動》に掲載されている学習指導案の組立てに際しては、次期学習指導要領に向けた英語教育改革の動きを意識しながら、それらを積極的に取り込むこととしました。従来の高学年「外国語活動」における単元当たりの時間数（6時間）で扱うべき内容には★、教科化による指導内容の拡充を反映したものには☆を付して分かりやすく示しています。

以下、具体的に「教科化に向けた工夫」及び「小中連携を意識した内容」という二つの観点について、各単元の特徴をまとめました。

【教科化に向けた工夫】

次期学習指導要領における小学校高学年への「外国語科」導入、すなわち英語の教科化に向けて、中央教育審議会初等中等教育分科会 教育課程部会教育課程企画特別部会の「論点整理」（平成27年8月26日）では、以下のように述べられています。

- 小学校段階においては、高学年の「外国語活動」の充実により、児童の高い学習意欲、中学生の変容などの成果が認められる一方で、①音声中心で学んだことが、中学校の段階で音声から文字への学習に円滑に接続されていない、②国語と英語の音声の違いや英語の発音と綴（つづ）りの関係、文構造の学習において課題がある、③高学年は、児童の抽象的な思考力が高まる段階であり体系的な学習が求められることなどが課題として指摘されている。
- これらの成果と課題を踏まえて、中学年から「聞く」「話す」を中心とした外国語活動を通じて外国語に慣れ親しみ外国語学習への動機付けを高めた上で、高学年から発達段階に応じて4技能を総合的・系統的に扱う教科学習を行うことが求められる。その際、これまでの課題に対応した教科化に向けて、新たに①アルファベットの文字や単語などの認識、②国語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き、③語順の違いなど文構造への気付き等を促す指導を行うために必要な時間を確保することが必要である。

リーフレット実践事例編の学習指導案では、これらを意識しながら、以下のような英語教科化に向けた具体的な工夫を盛り込んでいます。また全体を通して、「児童の思いや考え」を大切にしています。

単元 [Hi, friends! 2]	各単元の特徴
Lesson 4 Turn right.	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を大切に活動が心がる。（勝ち負けのゲーム性にとらわれず、対話することに意味をもたせる） ⇒ 宝探しゲーム（相手から情報を聞き、宝を見付ける）、 Where is my cat ?ゲーム（正確に情報を聞いて進んでいけば正解にたどり着く） ・チャンツは英語のリズムに慣れ親しませるだけでなく、強弱、つながる音・消える音などを意識させて行う。 ⇒ 自信をつけさせ、ポイントも伝える。 ・NHKプレキソ英語「What's this mark ?」を参考にし、日本文化と異文化を比較することで知識の幅を広げる。 ・第7時のオリジナルの地図記号（建物や施設）を記入する際に、ローマ字で名前を記入させることで、文字指導を行う。 ・覚えた表現や単語を使って、自分（たち）で考えたドリームタウンを相手に伝えるために、道案内したいと思わせることで、相手意識を備えた伝達能力を高める。
Lesson 5 Let's go to Italy.	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で学習する都道府県名や特産品、また国名や世界遺産を学習に取り入れて他教科とのつながりを意識させる。

<p>Lesson 6</p> <p>What time do you get up?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入から最終時までにおいて、難易度を上げていったり、語彙や表現を広げたりする。 ・8時間の授業は、連続性のある活動を組む。 ・文字を書くことは強制しないが、ワークシートや教材（絵カード）などにスペルを入れて、文字への興味を高める。 ・ゲーム的な活動や相手にインタビューをする活動など、児童の興味をひく活動を行う中で、自然と音声の反復練習を8時間の中で繰り返し、定着するような工夫を施す。
<p>Lesson 8</p> <p>What do you want to be?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職業のピクチャーカードに文字を入れることで、文字を読むことへの興味をもたせる。 ・「夢宣言スピーチ」の際に、自分で “I want to be a singer.” と書いた文を提示することで、書くことへの興味をもたせる。 ・職業名は、4線の上に書かれた手本を見ながら書くことで、児童がアルファベットの高さに気を付けて書けるようにする。 ・将来の夢について、自分たちのことに触れるだけでなく、世界の子供たちにも目を向け、国際理解教育と関連した学習内容を取り入れる。

【小中連携を意識した内容】

今後の日本の英語教育では、小学校中学年の「外国語活動」と高学年の「外国語科」のつながりだけでなく、それらと中学校外国語科、さらには高等学校外国語科との連携の観点が必要になります。すなわち小学校「外国語活動」及び「外国語科」では、中学校外国語科の学習内容を理解し、児童の実態に合わせて円滑かつ効果的な移行を行うための内容を取り入れ、指導を工夫していくことも大切です。

単元 [Hi, friends! 2]	各単元の特徴											
<p>Lesson 4</p> <p>Turn right.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「文字指導」については、中一の学習内容である「文字・単語」「日本語と英語の音声の違い」「語順」などを小学校で扱うことで、中学校との接続をよりスムーズにできる。 ＜例：今回の単元と対応する中学校の内容＞ <table border="1" data-bbox="512 1272 1394 1429"> <thead> <tr> <th data-bbox="512 1272 676 1294">Hi, friends! 2</th> <th data-bbox="676 1272 954 1294">中学1年</th> <th data-bbox="954 1272 1171 1294">中学2年</th> <th data-bbox="1171 1272 1394 1294">中学3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="512 1294 676 1429">道案内をしよう Turn right. Where is the ○○? Go straight. Turn right/left. Stop. Excuse me. Sorry.</td> <td data-bbox="676 1294 954 1429">Unit 8 (イギリスの本) Part 1 どこにあるかを尋ねよう Where is my dictionary? It is under the books. Daily Scene 5 道案内 道順を尋ねたり教えたりする言い方 I'm looking for Midori Station.</td> <td data-bbox="954 1294 1171 1429">Daily Scene 5 道案内 乗物での行き方を尋ねたり 教えたりする言い方 Which bus goes to City Hall? Take bus No. 3.</td> <td data-bbox="1171 1294 1394 1429">Daily Scene 4 道案内 乗物での行き方を尋ねたり 教えたりする言い方 Could you tell me how to get to Kokuritsu-kyogijo?</td> </tr> </tbody> </table>				Hi, friends! 2	中学1年	中学2年	中学3年	道案内をしよう Turn right. Where is the ○○? Go straight. Turn right/left. Stop. Excuse me. Sorry.	Unit 8 (イギリスの本) Part 1 どこにあるかを尋ねよう Where is my dictionary? It is under the books. Daily Scene 5 道案内 道順を尋ねたり教えたりする言い方 I'm looking for Midori Station.	Daily Scene 5 道案内 乗物での行き方を尋ねたり 教えたりする言い方 Which bus goes to City Hall? Take bus No. 3.	Daily Scene 4 道案内 乗物での行き方を尋ねたり 教えたりする言い方 Could you tell me how to get to Kokuritsu-kyogijo?
Hi, friends! 2	中学1年	中学2年	中学3年									
道案内をしよう Turn right. Where is the ○○? Go straight. Turn right/left. Stop. Excuse me. Sorry.	Unit 8 (イギリスの本) Part 1 どこにあるかを尋ねよう Where is my dictionary? It is under the books. Daily Scene 5 道案内 道順を尋ねたり教えたりする言い方 I'm looking for Midori Station.	Daily Scene 5 道案内 乗物での行き方を尋ねたり 教えたりする言い方 Which bus goes to City Hall? Take bus No. 3.	Daily Scene 4 道案内 乗物での行き方を尋ねたり 教えたりする言い方 Could you tell me how to get to Kokuritsu-kyogijo?									
<p>Lesson 5</p> <p>Let's go to Italy.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国名プリントで国の名前の頭文字を書く練習を取り入れる。 ・Presentation sheet 2 でなぞり書き（下書き）をして文字を書くことへの抵抗を少なくする。さらに文章を書く練習も取り入れる。 ・I want to ~などの定型表現を繰り返し何度も聞かせる。特産品など児童が話したいと思う内容や表現を選択してコミュニケーション活動が充実していくように心掛ける。 											
<p>Lesson 6</p> <p>What time do you get up?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習する内容や語彙、表現を小学校のうちに音声で扱い、中学校でスムーズにその単元の学習に入れるようにする。 											
<p>Lesson 8</p> <p>What do you want to be?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職業名を導入する段階から、不定冠詞 a を常につけて練習を行う。 ・英語とそれに由来するカタカナ語の発音の違いに気づくように、職業名の発音練習をする。 (例：artist が「アーティスト」にならないようにする、など) ・質問に対して答えを言って会話が終わるのではなく、相手の言葉に対してコメントを言う姿勢を育てる。 											

実践事例 1

Lesson4 Turn right.

1 単元名 Lesson 4 Turn right. 「道案内をしよう」 (小学校6年生)	
2 単元の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に道を尋ねたり、答えたりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】 ・日本と外国とでは、建物の言い方や地図記号に違うものがあることを知り、異文化を理解しようとする。【言語や文化に関する気付き】 	
3 指導計画	
<p>★第1時 日本と外国の街中の様子を比べ、相違点に気付く。</p> <p>☆第2時 街中にある建物や施設の言い方を知り、日本語との音の違いに気付く。</p> <p>★第3時 方向や動きを示す表現を知る。</p> <p>★第4時 目的地への行き方を尋ねたり答えたりする。</p> <p>☆第5時 相手意識をもち、道を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>★第6時 日本の地図記号と外国の地図記号を比較し、異文化に興味をもつ。</p> <p>★第7時 オリジナルの地図記号を作る。建物や施設にローマ字で名前を記入し、グループごとに「ドリームタウン」を作成する。[資料1]</p> <p>★第8時 (本時) オリジナルの地図記号を用いて作成した「ドリームタウン」について、グループごとで目的地への行き方を尋ねたり答えたりする。[資料1・2・3]</p>	
4 本時の目標	
<p>① オリジナルの地図記号を用いて作成した「ドリームタウン」について、その街にある建物や施設などへの道を尋ねたり答えたりする基本的な表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】</p> <p>② 聞き取りやすい声で、伝わっているか相手の様子を確認しながら対話する。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p>	
5 学習過程 ◆→教師がすること、◇→指導の際、注意すること、○→その他	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 挨拶をする。</p> <p>担任： Good morning, everyone. 児童： Good morning, Mr.～. 担任： How are you? 児童： I'm ～.</p> <p>2 チャンツを行う。</p> <p>担任： Let's do the chants. 児童： Station, station, where is the station? (p.16)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「ドリームタウン」を道案内しよう！</p> </div> <p>3 4人1組のグループになり、前時に作成した「ドリームタウン」を確認する。[資料1] 略地図に記入した地図記号の記号と名称を地図記号一覧表に記入する。</p> <p>4 グループごとに「ドリームタウン」にある建物や施設の行き方を尋ねたり答えたりする。</p> <p>①教師によるデモンストレーションを見て、やり方を知る。[資料2・3]</p>	<p>◆英語で挨拶をしながら、明るく楽しい雰囲気づくりをする。</p> <p>◆必要に応じて、絵カード等を提示する。</p> <p>◆天気や月日、曜日を尋ねる。</p> <p>◆必要に応じて、絵カード等を提示する。</p> <p>◆他の単語と入れ替えながら、数回繰り返させる。</p> <p>◆地図記号一覧表を各グループ配布し、地図記号の記号と名称を記入させる。</p> <p>◇一人一つは地図記号を記入させ、自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>◆デモンストレーションをする。</p> <p>◇はっきりと聞き取りやすい声で、伝わっているか相手の様子を確認しながら案内することが大切だと理解させる。</p>

(1)「ドリームタウン」で使われている地図記号一覧表を提示し、どんな建物・施設を表しているのかを尋ねさせる。

児童1： What's this (mark)？

児童2： (It's) ○○ bookstore.

ホテル－ hotel, 駅－ station, 公園－ park
おもちゃ屋－ toy shop, 文房具屋－ stationery shop,
ケーキ屋－ cake shop, 服屋－ clothing shop,
パン屋－ bakery, 自転車屋－ bicycle shop など

(2)その場所がどこにあるのか尋ねる。

児童1： Where is ○○ bookstore？

児童2： O.K. Let's go.

Go straight, go straight.

Turn left. Go straight.

Turn right. Go straight. . . .

Here is ○○ bookstore.

(3)一言付け加え、お礼を言う。

児童1： It's far. (It's close. It's nice.)

Thank you.

②活動で使う表現を練習する。

③互いの「ドリームタウン」を案内し合う。

④どれだけ地図記号を記入できたか確認する。

5 学習を振り返る。

①本時の学習のまとめを、振り返りカードに記入する。

②感想を発表する。

③教師の感想や中学校で学習する内容とのつながりについての話を聞く。

6 挨拶をする。

担任： That's all for today. Good-bye, everyone.

児童： Good-bye, Mr. ～.

◇聞かれた地図記号(目的地)までの道順は、その地図記号を作成した児童が案内するようにする。

◇学校を出発点として道案内を開始させる。

◇道案内を進めていく中で、どちらを向いて進んでいるのか分からなくなる児童が出ることが予想されるので、矢印を使用し、どの方向を向いているのか必ず確認するようにさせる。

◇目的地に到着したら、その地図記号を略地図に記入させる。

◇道を尋ねる(答える)人、地図記号を記入する(提示する)人の役割をローテーションして、活動させる。

◆全グループの地図記号を一枚の用紙にまとめ、「クラスみんなのドリームタウン」を完成し、児童に充実感を与える。

◇もし、同じ場所に地図記号が重なったら、そこはビルだと想定させ、1階が○○、2階が△△のようにする。

○なぜその場所に、その建物や施設を配置したのかについての意見交換を授業の進行に合わせて取り入れる。

◆本時の活動の取り組む様子や英語の技能面でよかった点を褒める。

◆中学校の外国語科と本時の学習内容のつながりについて話す。(中学校では、どの乗り物を使っていけば良いのか、どのくらい時間がかかるのかなどを学習する。)

○ユニークな名前や記号が示された「クラスみんなのドリームタウン」を教室に掲示し、本単元の学習の定着を図るとともに、明るく楽しい雰囲気クラスに広まるようにする。

6 評価

① 道を尋ねたり答えたりする基本的な表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】

② 聞き取りやすい声で、伝わっているか相手の様子を確認しながら対話をしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

<p>★第1時：日本と外国の町中の様子を比べ、相違点に気付く《態度》</p> <p>①日本と外国の町中の様子を比較し、気付いたことを話し合う。 国によってポストの色が違うことを紹介し（日本：赤、アメリカ：青、中国：緑、フランス：黄）、日本人のイメージと外国人とのイメージの違いがあることに気付かせる。</p>
<p>☆第2時：町中にある建物や施設の言い方を知る《知識》</p> <p>①おはじきゲーム（HF2 p.14 Let's Play） ② ミッシングゲーム ③ 聞き取り問題（HF2 p.15 Let's Listen）</p>
<p>★第3時：方向や動きを示す表現を知る《知識》</p> <p>①サイモンセズゲームで「Go straight」, 「Turn right」, 「Turn left」の表現を定着させる。 ②すごろくゲーム（サイコロを振り、出た目の数だけ進める。「Go straight」、「Turn right」、「Turn left」と声に出し、ゴールを目指す）</p>
<p>★第4時：目的地への行き方を尋ねたり答えたりする《表現》Where is ～？</p> <p>①チャンツ「Where is the station?」ここでは、「station」と、ペア活動で使う「treasure」のみを扱う。（HF2 p.16 Let's Chant） ②インフォメーションギャップを利用した宝探しゲーム（ペア活動）</p>
<p>☆第5時：相手意識をもち、道の尋ね方に慣れ親しむ（第4時は、一人に聞けばゴールに到着できるが、本時は数人に聞かないとゴールに到着できないようになっている。第4時より発展的）《表現》Where is ～？</p> <p>①チャンツ「Where is the station?」前時よりも単語を多くする。（HF2 (p.16) Let's Chant） ②Where is my cat? ゲーム（各列で示された情報の違う用紙を使用。順番に横の列の人から情報を聞く。正確に情報を聞き、進んでいけば、正解にたどり着く。）</p>
<p>★第6時：日本の地図記号と外国人向け地図記号の比較をし、異文化に興味をもつ《態度》</p> <p>①チャンツ「Where is the station?」前時よりも単語を多くする。（HF2 p.16 Let's Chant） 国土交通省が決定した「地名等の英語表記ルールと外国人向け地図記号」（2016年3月発表）をもとに外国人向けの地図記号に興味をもたせる。 ②NHKプレキシソ英語「What's this mark?」参考</p>
<p>★第7時：オリジナルの地図記号を作る。建物や施設にローマ字で名前を記入し、理想の町を作成する《態度》</p> <p>①チャンツ「Where is the station?」前時よりも単語を多くする。（HF2 p.16 Let's Chant） オリジナルの地図記号を作り（老人ホームの地図記号に小6女子のデザインが採用されたことも紹介する）（2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、経済産業省は公共施設などで使われる案内用の図記号を外国人にも分かりやすくする。3本の湯気が立った温泉の図記号は、外国人には「温かい料理」に見えるといい、人の姿を入れたものに変える）、その記号にローマ字で名前を記入する。 ②What's this?（意味・言葉をもとに、日本人以外でも理解できるような他者を意識した地図記号を考える。その地図記号が何を表しているのかを当てるクイズ）〔資料1〕</p>
<p>★第8時（本時）：オリジナルの地図記号をもとに作成したグループの理想の町について、目的地への行き方を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ《表現》Where is ～？</p> <p>①チャンツ「Where is the station?」前時よりも単語を多くする。（HF2 p.16 Let's Chant） ②インフォメーションギャップが生まれるように、「オリジナルの名称・地図記号」を使用する。4人グループで行わせる。〔資料1・2・3〕</p>

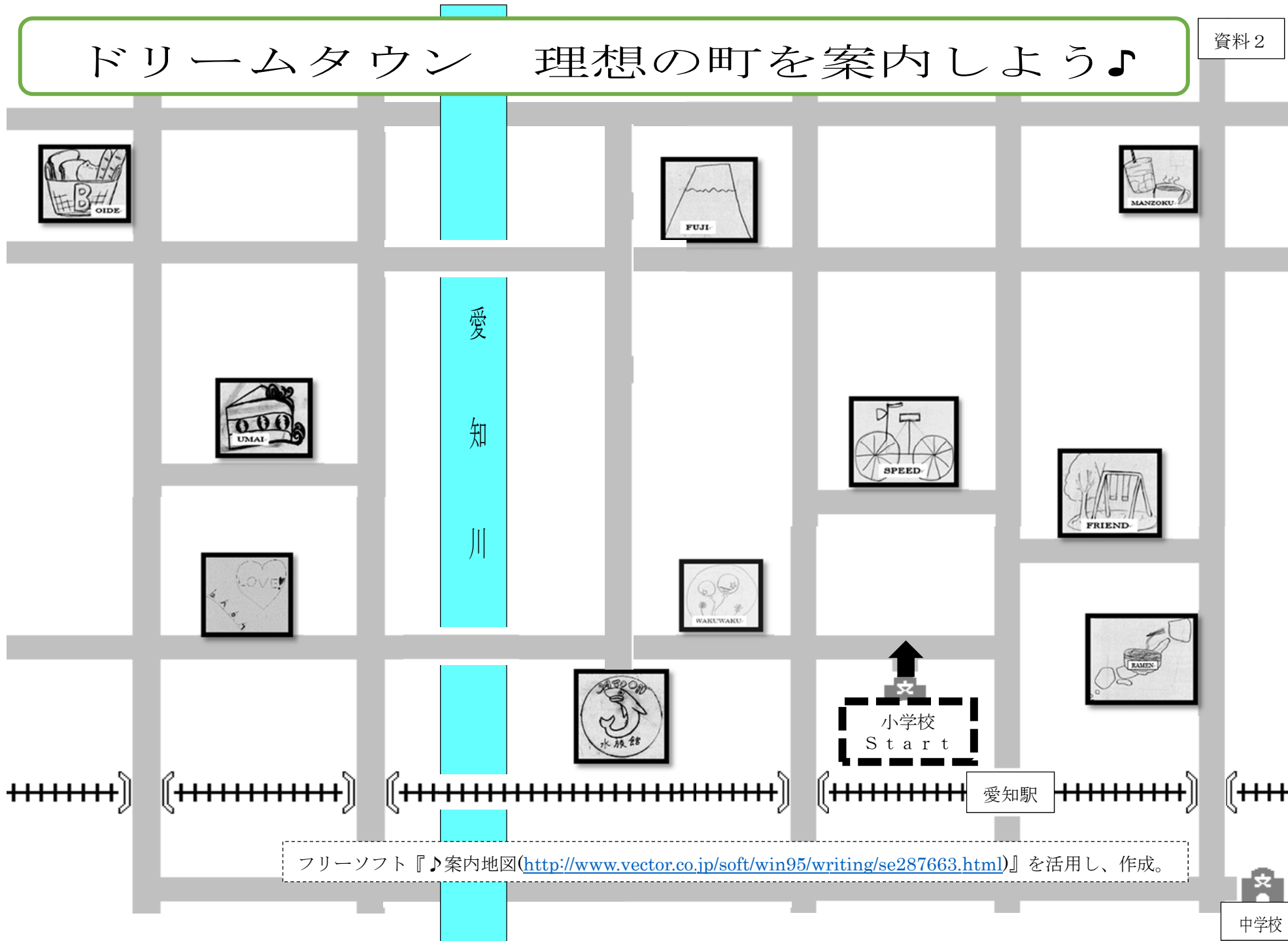


オリジナル地図記号 例 (本例は、中1、2の生徒が作成している。小学生はもっと簡単なものでよい。)

<p><LOVE (STATIONERY SHOP)> 文房具などがおいてある。女性がきゅんきゅんしたり、男女がペアの物を買ったりするところ。しかも、激安♪</p>	<p><FUJISAN (Mt. Fuji)> 世界遺産があれば地域が活性化されそうだから、町にあればいいと思う。</p>	<p><WAKUWAKU (AMUSEMENT PARK)> 遊園地の風船をモチーフにして描いた。花を描いてかわいらしさをだした。</p>	<p><SATOON (AQUARIUM)> ぼくは水族館が好きだから、自分のあだ名のついた水族館にした。</p>	<p><RAMEN JAPAN> 日本全国のラーメンが集まるお店。</p>
<p><SPEED (BICYCLE SHOP)> 速い自転車を買いたければこの店に来るといい。</p>	<p><MANZOKU (CAFE)> ちょっと休憩できる場所。どこに休憩場所があるか、この地図記号を見れば分かる。</p>	<p><FRIEND (PARK)> 友達と楽しく遊べる場所。</p>	<p><OIDE (BAKERY)> おいしいパン屋さん。いろいろなパンを合わせて地図記号にした。</p>	<p><UMAI (CAKE SHOP)> ケーキ屋の定番のショートケーキをもとに波線で洋風な感じにした。</p>

ドリームタウン 理想の町を案内しよう♪

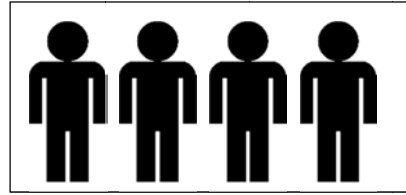
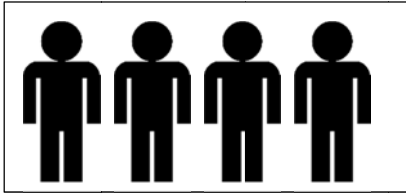
実践事例 1-⑤



フリーソフト『♪案内地図(<http://www.vector.co.jp/soft/win95/writing/se287663.html>)』を活用し、作成。

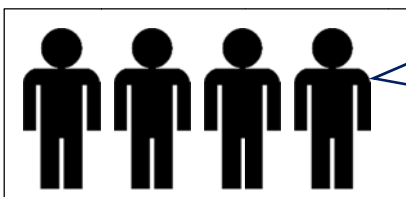
「ドリームタウン」を道案内しよう！ 手順

① 4人1組のグループを作る。



② 前時に作成した各グループのドリームタウンを確認する。

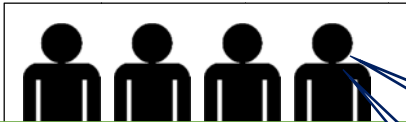
③ 略地図に記入した地図記号の記号と名称を地図記号一覧表に記入する。



1班 地図記号一覧表

	...	
--	-----	--

④ 地図記号一覧表を相手の班に提示する。



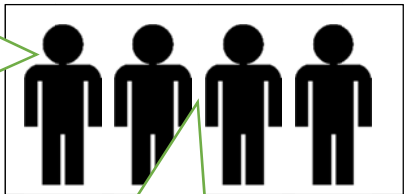
1班 地図記号一覧表



What's this?

(It's) Fuji (Mt.Fuji) .

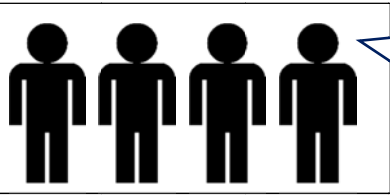
O.K. Let's go.



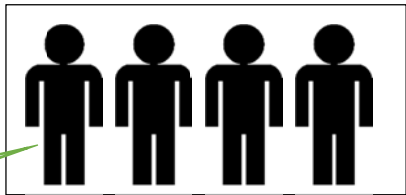
Where is Fuji (Mt.Fuji) ?

⑤ 問かれた地図記号（目的地）までの道順を案内する。

（相手班は地図上を矢印で動き、目的地を自分たちのグループの地図に記入する。）



Go straight, go straight.
Turn left. Go straight. Turn right.
Go straight.
Here is Fuii (Mt.Fuii).

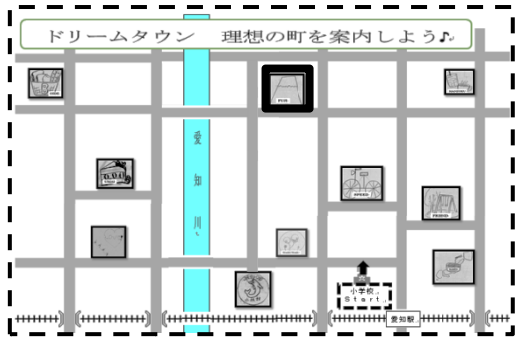


It's nice. Thank you.

⑥ 交代

（相手グループから自分のグループに④、⑤を繰り返す。）

※ 「時間制限を設けて行う」「1ターンずつ止めて、一斉に行う」「全員のやりとりが終わるまで行う」など、各クラスの実態に応じて行うようにする。



実践事例 2

Lesson 5 Let's go to Italy.

1 単元名 Lesson 5 Let's go to Italy. 「イタリアに行きましょう」 (小学校6年生)	
2 単元の目標 <ul style="list-style-type: none"> 世界の国々の様子から日本との共通点や相違点に気付き、世界に興味をもつ。 【言語や文化に関する気付き】 国名を正確に書き写したり発音したりする。【外国語への慣れ親しみ】 行ってみたい国とその理由を伝えようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 	
3 指導計画 <ul style="list-style-type: none"> ★第1時 世界には様々な国や世界遺産があることを知り、世界に興味をもつ。 ★第2時 世界の様々な人たちが、様々な生活をしていることを知り、世界に興味をもつ。 ★第3時 行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 [資料1] ☆第4時 自分の行きたい国の発表用資料を作成する。(1) [資料2] ★第5時 自分の行きたい国の発表用資料を作成する。(2) [資料2・3] ★第6時 相手に伝わるように自分の行きたい国とその理由を伝える。 [資料4] ★第7時 自分の行きたい国を発表する。 ☆第8時 (本時) 日本のよさに気付く。 [資料5] 	
4 本時の目標 <ul style="list-style-type: none"> ① 行きたい都道府県について尋ねたり、理由を添えて答えたりする基本的な表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】 ② 聞き取りやすい声で、伝わっているか相手の様子を確認しながら対話する。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 	
5 学習過程 ◆→教師がすること、◇→指導の際、注意すること、○→その他	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な言語で挨拶をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">日本のよさ、世界の国々のよさに気づこう</div> <ul style="list-style-type: none"> Let's Chant <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">Let's go to Italy.バージョン②③</div> <ul style="list-style-type: none"> 元気よくチャンツを歌う。 <p>2 Words や前時に習った文の復習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>America, India, France, Japan, China, Australia, Egypt, Brazil, Greece, Spain, Where do you want to go? I want to go to～. I want to see～. I want to eat～. Let's go to～. Yes, let's. / Sorry.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◇Hello. (アメリカ) Bonjour. (フランス) Jambo. (ケニア) Boa tarde. (ブラジル) アンニョンハセヨ (韓国) ニーハオ (中国) など言語とその国を確認する。 HF1(pp.4-5) ◆本時の目当てを確認する。 ◇バージョン②では I want to go to ～.の表現を練習する。 ◇バージョン③では You can ～.の表現を練習する。 ◆児童と一緒にチャンツを歌う。 ◇国旗を見せながら練習する。 ◇「行く・見る・食べる」のピクチャーカードも用いて練習をする。その後、黒板に掲示する。 ◇全体→班→個人の順に言わせる。 始めは全員で言って自信をもたせ、その後、班や列などで練習する。十分な練習をした後、個人で言わせる。

3 行ってみたい都道府県について会話する。

—行ってみたい所について会話しよう—
友達と行ってみたい都道府県について互いに尋ね合う。

- ・①「行ってみたい都道府県」とその県で
- ②「見たいもの」③「食べたい物」について互いに尋ね合う。
- ・英語が思い浮かばないときは、日本語やジェスチャーで表現する。

児童1 : I want to go to Hiroshima.
I want to see Gembaku Dome.
I want to eat Okonomiyaki.
Let's go to Hiroshima.

児童2 : Yes, let's. / Sorry. Next time.

- ・自分の行きたい都道府県について、紹介の準備をする。
- ・3・4年生社会の授業で扱われる「都道府県の特産品」等に関する資料を参考にする。
- ・6年生社会の授業で扱われる「世界遺産」等に関する資料を参考にする。(実物投影機で映す)
- ・出会った友達に自分の行きたい都道府県を紹介する。
- ・紹介の後、Let's go to ～.と誘う。相手は、行ってみたいと思ったら Yes、 let's. と答え、もう少し考えたいと思ったら Sorry.と答える。
- ・できるだけ多くの児童と交流する。
- ・日本のよいところに改めて気付く。
- ・「行ってみたい」と答えた友達が多かった児童の発表を聞く。

4 学習を振り返る。

- ・本単元の振り返りをする。
- ・挨拶をする。

◇活動の仕方を説明し、スキットの練習をさせる。

◇出会った友達にできる限り Yes、 let's. と答えてもらえるよう紹介の仕方を工夫するよう促す。

◇英語での言い方が分からないときは、教師に聞いてもよいことを伝える。

◆ジェスチャーが思い浮かばない児童には、どのようにジェスチャーをしたらよいのかヒントを与える。

◆I want to go to ～.

I want to see ～.

I want to eat ～.

Let's go to ～. などの表現が定着しているかを確認する。

◆できるだけ相手の顔を見て会話するように呼びかける。

◇聞き取れないときは Pardon?と聞き直す。

◇会話に出てきた都道府県名に○を付け、できるだけ多くの児童と交流するように呼びかける。

◆笑顔で相手によく伝わる声で紹介できている児童を称賛する。

◆世界だけでなく、日本にも様々な観光場所、食文化などがあることを再認識させ、日本のよさに気付かせる。

◇しっかり発表できていた児童が誰かを聞き、発表させる。若しくは教師が観察をしていて、よくできていた児童に発表させる。

◆児童が発表している県の地図上での場所や特産品を実物投影機で映し、確認する。

◆発表を聞き、「日本の観光場所や食文化のよさ」について再確認する。

◇本単元のまとめをする。

◇日本や世界によい所が多くあることに気付く。

◆挨拶をする。

6 評価

① 行きたい都道府県について尋ねたり、理由を添えて答えたりする基本的な表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】

② 聞き取りやすい声で、伝わっているか相手の様子を確認しながら対話をしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

★第1時：国の名前と世界遺産を表す英語表現に慣れ親しむ 《知識・表現》What country? What's this?

Hi, friends! 2 の pp. 18-19 にある国々とその世界遺産

America	<i>the Statue of liberty</i>	Australia	<i>Ayers Rock</i>
India	<i>Taj Mahal</i>	Egypt	<i>Pyramid / Sphinx</i>
France	<i>Mont Saint Michel</i>	Brazil	<i>Iguacu National park</i>
Japan	<i>Kiyomizu Temple</i>	Greece	
China	<i>the Great Wall</i>	Spain	

★第2時：行きたい国やその国を代表するものに慣れ親しむ 《表現》 I want to ~.

- ① Hi, friends! 2 の pp. 20-21
 France the Eiffel Tower / castles / escargots Italy pizza / cheese / soccer
 China the Great Wall / panda / dumpling Australia Ayers Rock / koala / cricket
- ② p. 21 Let's Chant チャンツが言えるようになる。
 ア Let's go to Italy. Pizza, cheese, soccer. Nice country. Let's go.
 イ Let's go to Italy. I want to eat pizza. I want to eat cheese. I want to see soccer games.
 Nice country. Let's go.
 ウ Let's go to Italy. You can eat pizza. You can eat cheese. You can see soccer games.
 Nice country. Let's go.
- ③ 地図と国旗のマッチングゲームをする。

★第3時：行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ 《表現》Where do you want to go?

- ① Hi, friends! 2 の p. 20 Let's Play 3 & p. 21 Where do you want to go?
 I want to go to _____. I want to see _____. I want to eat _____.
- ② 国名を正確に書き写したり発音したりする。
 文科省ワークシート 9-4 (アルファベットの文字の認識・音の認識 <国名編>)
 Argentina ~ Zambia の国名を書き写す。[資料1]

☆第4時：自分の行きたい国の発表用資料を作成する(1) 《態度》資料作成に取りかかる。

パソコンを使って、行きたい国について調べる。(下書き) [資料2]
 世界遺産や食べ物について調べる。 Where do you want to go?に対する答えを意識する。

世界遺産	食べ物	世界遺産	食べ物
イグアス国立公園	シュラスコ	万里の長城	餃子
エアーズロック	ヌテラ	ピラミッドとスフィンクス	ケバブ
清水寺	寿司	自由の女神	ステーキ
タージマハール	カレー	モンサンミッシェル	フォアグラ

★第5時：自分の行きたい国の発表用資料を作成する(2) 《表現》資料作成をする。

Presentation sheet ①② (別紙参照) を作成する。(下書き&清書) [資料2・3]

★第6時：相手にはっきり伝えるように自分の行きたい国とその理由を伝える 《表現》発表練習をする。

Presentation sheet ③を作成する。(清書&暗唱) [資料4]
 I want to go to _____. I want to see _____. I want to eat _____. Let's go to _____.

★第7時：自分の行きたい国を発表する<発表会> 《表現》自分の行きたい国の発表をする。

聞いている人はメモを取りながら聞く。

★第8時(本時)：日本のよさに気づく 《表現》自分の行きたい都道府県の発表をする。

日本で行きたい所とその理由を表現する。

ワークシート 9-4

国名編

Grade

Class

Name



rentina



olivia



anada



enmark



gypt



inland



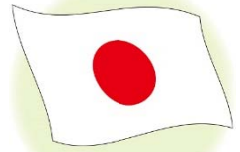
hana



ungary



ndia



enya



aos



ongolia



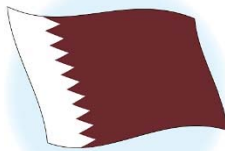
orway



man



eru



atar



ussia



ingapore



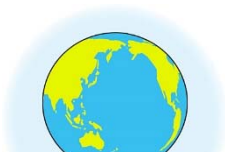
urkey



nited States of America



ietnam



orld



Meico



emen



ambia



Presentation sheet ①

資料 2

Grade class No. _____ Name _____

Country (国)

国旗

Place (場所)

絵	
---	--

Food (食べ物)

絵	
---	--

Presentation sheet ②

Grade class No. _____ Name _____



Where do you want to go?

(あなたは、どこへ行きたいですか。)



I want to go to Italy. (私はイタリアへ行きたいです。)

I want to see soccer games. (私はサッカーの試合が見たいです。)

I want to eat pizza. (私はピザが食べたいです。)

I want to go to

I want to see

I want to eat

Nice country.

Let's go.

Presentation sheet ②

資料 4

Grade class No. _____ Name _____



Where do you want to go?

(あなたは、どこへ行きたいですか。)



I want to go to Italy. (私はイタリアへ行きたいです。)

I want to see soccer games. (私はサッカーの試合が見たいです。)

I want to eat pizza. (私はピザが食べたいです。)

実践事例 3

Lesson6 What time do you get up?

1 単元名 Lesson 6 What time do you get up? 「何時に起きますか」 (小学校6年生)	
2 単元の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に自分の1日を紹介したり、友達の1日を聞き取ったりしようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・生活を表す表現や、1日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】 ・世界には時差があることに気付き、世界の様子に興味をもつ。 【言語や文化に関する気付き】 	
3 指導計画	
<ul style="list-style-type: none"> ★第1時 1～60までの数の練習をする。 ★第2時 時刻を表す表現を知る。 ★第3時 時刻を尋ねるやり取りの表現を知る。 ★第4時 様々な習慣の表現に慣れ親しむ。 ★第5時 自分の1日の習慣に時刻をつけて表現する。 ★第6時 自分の生活についての時刻をみんなの前で紹介したり、友達同士で聞き合ったりする。 ☆第7時 自分の理想の1日や理想の休日を設定して「何時に～する」を考える。 ☆第8時 (本時) いろいろなグループで、インタビューをし合い、自分の理想の生活時刻について伝える。(インフォメーションギャップを生かしたインタビュー活動) [資料1] 	
4 本時の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ① 理想の休日について、何時に何をするかを尋ねたり答えたりする基本的な表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】 ② 聞き取りやすい声で、伝わっているか相手の様子を確認しながら対話する。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 	
5 学習過程 ◆→教師がすること、◇→指導の際、注意すること、○→その他	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 英語の歌を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Song of the month をCDに合わせて元気よく歌う。 <p>2 はじめの挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 担任： Hello, everyone. 児童： Hello, Mr. / Ms.～. 担任： How are you? 児童： I'm ～. How are you? 担任： I'm～. </div> <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士ペアで挨拶をする。 ・次に、席が近くの子3人と挨拶をしたら座る。 <p>3 前時までの復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計読み早押しクイズを行う。 What time is it? It's 8:30. ・各グループに模型の時計を配り、一人が針を回し、他の子は競争で時刻を答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇振り付けがあって、踊れる曲が望ましい。 ◆教師も子供と一緒に元気よく歌う。 ◇I'm ～. の後には、sleepy, hungry, great など、自分の気持ちに応じた言葉を入れさせる。 ◇同じ子ばかりが答えることがないように、一度答えたら終わるなど、なるべく全員が答える機会をもつようにする。 ○全員質問できるように交代する。

4 活動のための事前練習をする。

- ・自分の理想の休日の過ごし方について、前時に用意した英文をグループの中で友達に紹介しながら練習する。

(例)

I get up at ten. I have lunch at noon.
I swim at three. I watch TV at ten.
I go to bed at twelve.

- ・What time do you ~? I ~ at ~.の問答の仕方を全体で確認し、全体で口頭練習も行う。
- ・ペア又はグループ内で互いの理想の生活についてインタビューし合い、得た情報をワークシートにメモする練習を行う。

5 理想の休日インタビューゲームを行う。

- ・インタビューゲームのルールについて説明を聞く。指定時間内(10分)にできるだけたくさんの相手とインタビューをする。→共通の習慣の質問(起きる、風呂に入る、寝る)と自由な習慣の質問をそれぞれ行う。
- ・グループ以外の子に質問する。
- ・自分が質問するだけでなく、相手の質問に答える。
- ・得た情報を次々にワークシートにメモする。

6 学習を振り返る。

- ・本時の二つの目標に沿った自己評価をする。
- ・本日よくできたこと、次回がんばりたいことを記入する。
- ・数名の児童が発表する。

7 終わりの挨拶をする。

担任: That's all for today. Good-bye,
everyone.

児童: Good-bye, Mr.~.

◇なじみのない動詞、未習の動詞などがある場合は、全体で紹介し、口頭練習をして慣れておき、後の活動で困らないようにする。

◆自信のもてないペアの支援を行う。

◆教室全体に目を配りながら、うまく質問のできない子への支援を行う。

(共通の習慣の質問の例)

A: What time do you get up?

B: I get up at 7:30.

(自由な習慣の質問の例)

A: Do you watch TV?

B: Yes, I do.

A: What time do you watch TV?

B: I watch TV at 8:00.

(自由な習慣の質問の例)

A: Do you watch TV?

B: No, I don't.

A: O.K.

◆本時の授業において、児童のよかったところを取り上げて称賛する。

6 評価

① 理想の休日について、何時に何をするかを尋ねたり答えたりする基本的な表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】













② 聞き取りやすい声で、伝わっているか相手の様子を確認しながら対話をしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

<p>★第1時：1～60までの数の練習をする《知識》</p> <p>①数字の言い方の練習をする。 ②数字のビンゴゲームや数字かるたをして、1～60の数の言い方に慣れる。</p>
<p>★第2時：時刻を表す表現を知る《表現》It's ~ in ~.</p> <p>①時刻の表現の仕方を知り、練習する。 ②時計の模型を用い、示された時刻について、It's ~. の言い方で答える練習をする。 ③HF2 (pp. 24-25) Let's listen 3 世界の時刻を四角に書き、地図の都市と絵を線で結ぶ。世界には時差があることを知る。(地球儀、世界地図等を使用) It's ~ in London. など、場所とその時刻を言う練習をする。</p>
<p>★第3時：時刻を尋ねるやり取りの表現を知る《表現》What time is it? It's ~.</p> <p>①What time is it? It's ~. で、時刻を尋ねるやり取りの表現を知り、実際の時刻を答えたり、時計の模型で示した時刻について答えたりする。(グループで、一人が時刻を示し、一人が What time is it? と質問し、残りの子が答えるといった活動を行う。) ②時刻を聞き取って、教科書の時計の絵に針や数字を書き込む。</p>
<p>★第4時：様々な習慣の表現に慣れ親しむ《表現》What time do you get up? I get up at ~.</p> <p>①絵カードを見ながら習慣の表現を練習する。 ②それぞれの習慣に時刻を付けて言う練習をする。(例：I get up at seven.) ③What time do you get up? I get up at ~. のように、それぞれの習慣をいつ行うのかを尋ねるやり取りの表現を知り、練習をする。</p>
<p>★第5時：自分の1日の習慣に時刻を付けて表現する《表現》What time do you get up? I get up at ~.</p> <p>①起床、朝食、登校、給食、掃除、下校、宿題、テレビ、夕食、入浴、就寝などの1日の習慣に時刻を付けて、英語で表現する練習をする。 例：I get up at ~. ②What time do you get up? などの質問に対して、自分の習慣で答えるやり取りをする。</p>
<p>★第6時：自分の生活についての時刻をみんなの前で紹介したり、友達同士で聞き合ったりする《態度》</p> <p>①日課表に自分の1日の生活時刻を書き込み、ショートスピーチ形式で紹介する。 ②インタビューをして友達の生活時刻を聞き、ワークシートに数字で時刻を書き込む。</p>
<p>★第7時：自分の理想の1日や理想の休日を設定して「何時に~する」を考える《態度》</p> <p>①ワークシートに自分の理想とする1日の生活時刻や休日の生活時刻を書き込む。 ②書き込んだ自分の生活について話す練習をする。 ※ 通常の生活や学校生活にはほとんど時刻の差がなく、インタビュー活動を行っても information gap が生じないため、「理想の…」という設定にする。</p>
<p>★第8時（本時）：いろいろなグループで、インタビューをし合い、自分の理想の生活時刻について伝える（インフォメーションギャップを生かしたインタビュー活動）《態度》</p> <p>①多くの友達と、自分の理想の生活時刻について伝え合う。</p>

name _____













練習







練習 書き方 (例) name : タロベエ	① name :	② name :	③ name :
10 : 30 (get up) 	: (get up) 	: (get up) 	: (get up) 
11 : 00 (サーフィン)	: ()	: ()	: ()
12 : 30 (eat lunch)	: ()	: ()	: ()
2 : 00 (買物に行く)	: ()	: ()	: ()
5 : 00 (take a bath) 	: (take a bath) 	: (take a bath) 	: (take a bath) 
12 : 00 (go to bed) 	: (go to bed) 	: (go to bed) 	: (go to bed) 

※聞き取ったことは日本語で簡単にメモしよう。英語で書けるところは英語で書いてもよいです。

- 理想の休日 やりたいこと (行動) の例
- play soccer (サッカーをする)
 - read books (読書をする)
 - play the piano (ピアノを弾く)
 - swim (泳ぐ)
 - play video game (ゲームをする)
 - walk (散歩に出かける)
 - cook (料理をする)
 - go to the amusement park (遊園地へ行く)

○インタビューゲーム

①	②	③	④
name :	name :	name :	name :
: (get up) 	: (get up) 	: (get up) 	: (get up) 
: ()	: ()	: ()	: ()
: ()	: ()	: ()	: ()
: ()	: ()	: ()	: ()
: (take a bath) 	: (take a bath) 	: (take a bath) 	: (take a bath) 
: (go to bed) 	: (go to bed) 	: (go to bed) 	: (go to bed) 

⑤	⑥
name :	name :
: (get up) 	: (get up) 
: ()	: ()
: ()	: ()
: ()	: ()
: (take a bath) 	: (take a bath) 
: (go to bed) 	: (go to bed) 

○今日の振り返り

・クラスの子と進んでインタビューをし、その
 答えを聞き取ることができましたか。

A・B・C・D

・大きな声、アイコンタクト、ジェスチャー、
 笑顔でできましたか。 A・B・C・D

・今日がんばれたこと

・次にもっとがんばりたいこと

・今日の感想

実践事例 4

Lesson8 What do you want to be?

1 単元名 Lesson 8 What do you want to be? 「夢宣言をしよう」 (小学校6年生)	
2 単元目標 <ul style="list-style-type: none"> 自分の夢について進んで話そうとしたり友達の夢を聞こうとしたりする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】 世界には様々な夢をもつ同年代の子供がいることを知ったり、職業を表す語の成り立ちを通して、英語と日本語の違いや言葉の面白さに気付いたりする。【言語や文化に関する気付き】 	
3 指導計画 <ul style="list-style-type: none"> ★第1時 職業の言い方を知る。① ～同じ職業を国ごとに比べてみよう～ ★第2時 職業の言い方を知る。② ～英語と日本語を比べてみよう～ ★第3時 就きたい職業について聞いたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ★第4時 友達の夢についてインタビューする。 ☆第5時 なりきりインタビューをする。～先生たちの子供の頃の夢は?～ ☆第6時 同年代の世界の子供たちについて考える。 ★第7時 「夢宣言スピーチ」の準備をする。 ★第8時 (本時)「夢宣言スピーチ」をする。[資料1・2] 	
4 本時の目標 <ul style="list-style-type: none"> ① 就きたい職業について理由を添えて伝える基本的な表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】 ② 聞き手にうまく伝わるように工夫しながらスピーチをする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 	
5 学習過程 ◆→教師がすること、◇→指導の際、注意すること、○→その他	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>担任： Good morning, everyone. 児童： Good morning, Mr. / Ms. ～. 担任： How are you? 児童： I'm ～, thank you. And you? 担任： I'm ～, thank you.</p> </div> <p>2 就きたい職業の尋ね方、答え方を復習する。 ・教師のデモンストレーションを見て、何になりたいか聞くときは、What do you want to be? を使うことを思い出す。 ・記載された情報に差があるワークシートを使い、友達とインタビューし合う。[資料1] ・ペアでなりきりインタビューを行い、尋ね方と答え方を練習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>担任： Hello. I'm ○○. What do you want to be? 児童： I want to be a baseball player. 担任： Oh, <u>a baseball player!</u> Nice dream! 児童： Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ジェスチャーをつけて、表情豊かに挨拶をすることで、授業の雰囲気づくりをする。 ◆教師と代表児童がデモンストレーションを行うことで、インタビューの仕方を分かりやすく説明する。相手が答えた職業名を繰り返すことを伝える。 ◆数種類のワークシートを用意する。(資料参照) ◇ワークシートには児童になじみのあるキャラクターなどを登場させてもよい。 ◆相手が答えた夢に対して、コメントを加えるように促す。Nice dream. / Good dream. / Great dream. / Good luck. 使えるコメントを黒板に貼ることで、児童が会話の際に参考にできるようにする。 ◆ペアでインタビューできているか児童の様子を観察することで、スムーズに言うことが難しい児童には隣で一緒に発音する。

3 ペアでスピーチの練習をする。

- ・前時に準備した発表資料を用いて、自分の夢について話す練習をペアで行う。〔資料2〕

児童1 : What do you want to be?
 児童2 : I want to be a cabin attendant.
 児童1 : A cabin attendant.
 児童2 : I have a Chinese friend. I want to go to China and Australia. I want to study English (in junior high school).
 児童1 : Wow! Nice dream!
 児童2 : Thank you.

4 グループで「夢宣言スピーチ」をする。

- ・4人グループを作る。発表者以外の3人が質問をして、それに答える形でスピーチを始める。

その他の活動例①

聞いている児童は、発表者の就きたい職業名を書く。

児童1・2・3 : What do you want to be?
 児童4・5・6 : I want to be a vet.
 児童1・2・3 : A vet.
 児童4 : I have two dogs. I like animals very much. I want to help animals. I want to study science (in junior high school).
 児童1・2・3 : Great dream! Good luck.
 児童4 : Thank you.

5 グループの代表児童がスピーチをする。

- ・相互評価をもとにグループの代表児童を決める。
- ・全体発表のときも、発表者にコメントを言う。
Nice dream. / Good dream. / Good luck.

6 学習を振り返る。

- ・振り返りカードを記入する。
- ・目標についての数字の評価と文章記述で、自己評価をする。

6 評価

- ① 就きたい職業について理由を添えて伝える基本的な表現に慣れ親しんでいる。
【外国語への慣れ親しみ】
- ② 聞き手にうまく伝わるように工夫しながらスピーチをしている。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

◆デモンストレーションで資料の効果的な提示の仕方を示す。視覚資料を使うタイミング、夢の宣誓文を出すタイミング、ジェスチャーを使うことを伝える。

◆相手の言った職業名を繰り返して言うように促す。

◆I want to be～. の文の他に、2文程度の英文を言えるように指導する。I like～. I like～. のように同じ動詞の繰り返しになってもよい。また、中学校でがんばりたいことなどを最後に入れることができるとよい。

◇左記の会話は例であり、児童の実態に応じて文を変えたり減らしたりするなどの支援をする。

◆発表の仕方を代表グループの児童と一緒にデモンストレーションする。

◆聞いたことを書き取る場合は、日本語でよいことを伝える。

◆視線の使い方や声の大きさなど相手を意識した話し方ができているか観察し、必要であればアドバイスをする。相手の言った職業名を繰り返して言うように促す。

◆友達の夢に対して、コメントできている児童や資料を効果的に使いながら発表できている児童を褒める。Great! / Good job! / Wonderful!

その他の活動例②

クラスみんなに夢宣言スピーチをしよう!

第7時にグループ練習まで行き、第8時は、クラス全体での発表時間にする。

○代表児童のスピーチを見て、よいスピーチの仕方をクラス全体で共有できるようにする。

◆視線の使い方や声の大きさ、資料の提示の仕方など、よくできていることについて具体的にコメントする。

◆本時の授業について、児童のよかった点を評価する。

単元全体の流れ【実践事例4】 <〇〇>→ 主に育成したい資質・能力 HF2→ Hi, friends! 2

<p>★第1時：職業の言い方を知る ① ～ 同じ職業を国ごとに比べてみよう ～ 《知識》</p> <p>① a teacher, a singer, a player, a farmer, a baker, a fire fighter, a bus driver, a zoo keeper, a florist, a dentist, an artist の言い方を知り、カード(HF2 pp.53-55)を使ってかるたやビンゴを通して慣れ親しむ。</p> <p>② いろいろな国の職業についての映像を見て、日本との違いに気付く。 〈例〉消防士の服の色が違う。教師が制服を着ている。</p>
<p>★第2時：職業の言い方を知る ② ～ 英語と日本語を比べてみよう ～ 《知識》</p> <p>① 前時の職業名に加え、残りの a comedian, a cook, a vet, a cabin attendant, a doctor をカードで練習する。</p> <p>② ピクチャーカードに書かれた単語を見て、綴りの規則性に気付く。singer のように動詞に er がついて、職業名になっているものと、florist, dentist などのように ist で終わるものの違いに気付く。</p> <p>③ 英語とそれに由来するカタカナ語の発音の違いなどに気付く。(〈例〉 artist, strawberry, book など)</p>
<p>★第3時：就きたい職業について聞いたり答えたりする表現に慣れ親しむ 《表現》 What do you want to be?</p> <p>○ car crash (「どんちゃんゲーム」別紙参照) などのゲームを通して、質問と答える文に慣れ親しむ。</p> <p>《やり方》 4人グループを作る。スタートに自分の消しゴムを置く。二人ずつ二手に分かれて進む。他の3人が What do you want to be? と言ってから、さいころを振る。出た数だけ進んで、止まったところの職業名で I want to be a singer. などと答える。進むうちに、あるマスで二人がぶつかったら car crash が起こる。ここでじゃんけんをして、負けた人はスタートに戻る。早く1周できた人が勝ち、又は制限時間内にコースを多く回った人が勝ち、など様々な勝ちパターンがある。</p>
<p>★第4時：友達の夢についてインタビューする 《表現》 What do you want to be?</p> <p>① 夢について友達にインタビューする。(HF2 p.40 Let's Play) 児童から新たな職業名が出た場合は、学級全体にそれを伝える。</p> <p>② 友達の答えをもとに、なりきり自己紹介又はインタビューをする。</p>
<p>☆第5時：なりきりインタビューをする ～先生たちの子供の頃の夢は？～ 《表現》 What do you want to be?</p> <p>○ 学校にいる先生たちの子供の頃の夢を調べておき、「先生の夢カード」を作る。児童はそれを1枚ずつ持ち、その先生になりきる。インタビューをして、先生たちの子供の頃の夢は何かをワークシート(資料1参照)に書き込む。校長先生などは、カードの枚数をわざと少なくしておくのもよい。</p>
<p>☆第6時：同年代の世界の子供たちの夢を知る 《態度》 世界の子供に関心をもつ。</p> <p>① 資料を見て、世界の子供たちの夢について知る。「職業に就きたい夢」ではなく、「きれいな水が飲みたい。」「学校に行きたい。そして〇〇になりたい。」「〇〇になりたい。そして、家族を助けたい。」などの夢をもつ外国の子供について知ったり、世界の子供たちの様々な考えに触れたりする。 参考資料：ユニセフ HP> 教えて！ユニセフ> 子供と先生の広場 http://www.unicef.or.jp/kodomo/</p> <p>② 資料をもとに can を使って英語で表現する。I can go to school. He can't go to school. のように、既習の can を使って表現することで、外国語活動と国際理解の学習を関連付ける。</p>
<p>★第7時：「夢宣言スピーチ」の準備をする 《表現》 資料を作成する。</p> <p>① 将来の夢とできることや好きなことを英語で言うための準備をする。イラスト、写真等を用いて発表のための視覚資料を作成する。have, study の使い方を全体で練習する。</p> <p>② 4線の上に書かれた職業名を見ながら発表で使う宣誓文「I want to be a singer.」を書く。</p>
<p>★第8時(本時)：「夢宣言スピーチ」をする 《表現》 スピーチをする。</p> <p>○ 発表資料を使って、グループで夢宣言スピーチをする。(HF2 p.40 Activity)</p>

Lesson8 夢宣言をしよう (第8時 インタビュー用ワークシート)

What do you want to be?







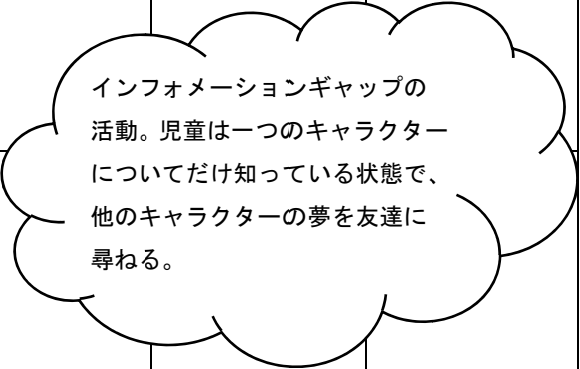
友達や先生にインタビューして、ほかのキャラクターたちの夢を聞こう。

この対話例は、児童用ワークシートには載せません。

A: Hello, I'm ●circle.
 B: Hello, I'm ■square.
 A: What do you want to be?
 B: I want to be a singer.
 A: A singer*! Nice dream!
 B: Thank you. What do you want to be?
 A: I want to be a florist.
 B: A florist*. Good dream!
 A: Thank you. Good bye.
 B: Good bye.

*相手の答えを繰り返して言う。

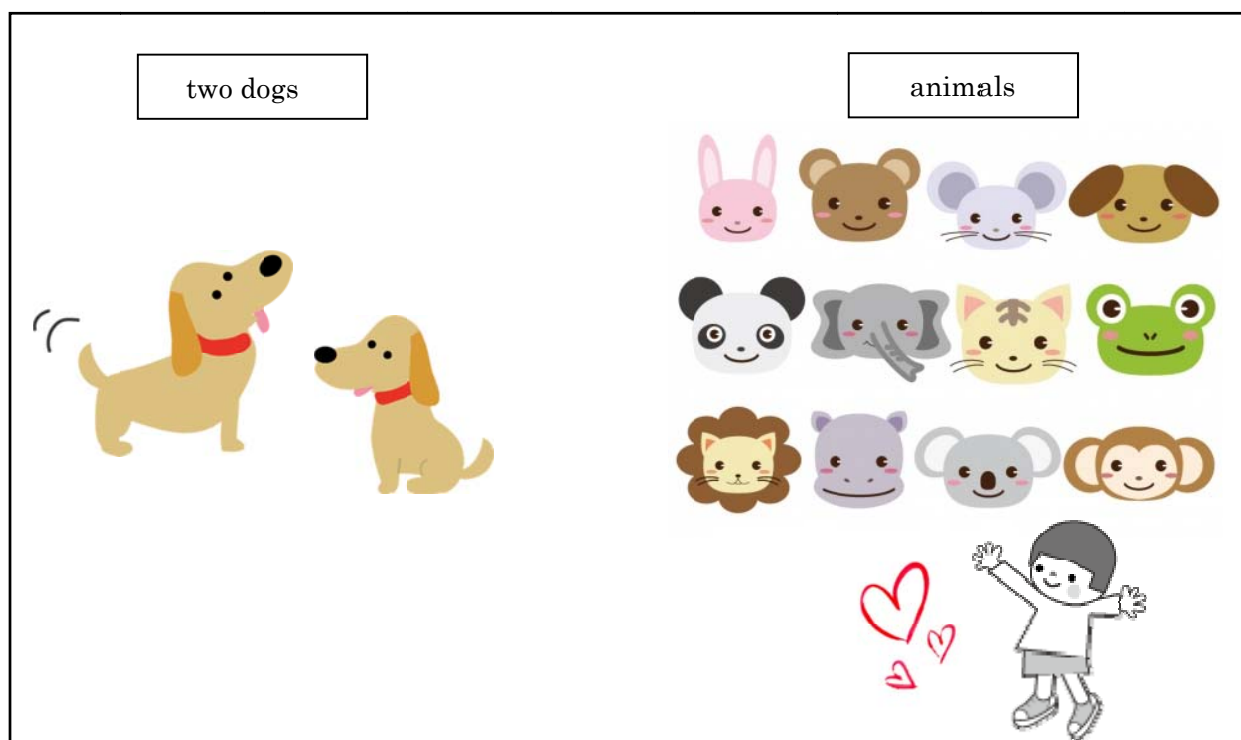
答えを書くときは、ここから選ぼう↓
 先生、歌手、ダンサー、医者、歯医者、パン屋、花屋、お笑い芸人、消防士、バスの運転手、キャビンアテンダント、画家、獣医、動物園の飼育員、農家、サッカー選手

みんなの夢を聞いてみよう 					
夢		花屋	 <p>インフォメーションギャップの活動。児童は一つのキャラクターについてだけ知っている状態で、他のキャラクターの夢を友達に尋ねる。</p>		
聞いた人					

友達のよかったところを書こう。	自分のがんばったところを書こう。
-----------------	------------------

発表資料（イメージ）

表 自分の発表内容を表すイラストを描く。



裏 アルファベットの高さを意識して書けるように、資料用の画用紙に4線を印刷しておく。

例①

I want to be a vet.

例②

I want to be a singer.